

藤ノ森たより 特別号



令和4年10月31日 京都市立藤ノ森小学校 校長 東原 幹人

すべては藤森の
子どものために

依然として新型コロナウイルスの流行に伴う様々な教育活動の制限がある中で、「できること」を模索しながら取組を進めて参りました。アンケートの自由記述欄においては、GIGAスクール構想や、コロナ対策、学校の取組について感じておられることについてご回答いただきました。子どもたちのより良い育ちのため、子どもたちや保護者の皆様、地域の皆様のご意見を活かして取り組んでまいります。

令和4年度 第1回教育アンケート(児童)

質問項目	そう思う	大体そう思う	あまり思わない	そう思わない	分からない
学校生活は楽しいですか。	67.3%	24.1%	5.7%	0.5%	2.4%
授業がよく分かりますか。	56.8%	33.0%	6.5%	0.3%	3.5%
学校や学級のルールを守って生活していますか。	49.5%	40.5%	7.0%	0.8%	2.2%
授業中、進んで学習に取り組んでいますか。	51.6%	36.5%	6.5%	1.9%	3.5%
授業中、先生や友達の話をしっかり聞き、話していますか	62.2%	29.2%	5.4%	0.8%	2.4%
協力して学習することができていますか。	56.8%	34.1%	5.9%	1.1%	2.2%
家庭で自主学習(がんばり勉強)を取り組んでいますか。	47.8%	30.0%	15.7%	4.1%	2.4%
ていねいな言葉づかいに気を付けていますか。	48.9%	33.8%	13.2%	1.6%	2.4%
進んで元気よくあいさつしていますか。	51.1%	30.3%	11.4%	4.1%	3.2%
自分や人、ものを大切にしていますか。	75.1%	19.2%	2.7%	0.8%	2.2%
掃除や整理整頓をしっかりしていますか。	56.5%	28.1%	8.9%	3.8%	2.7%
進んで体を動かしていますか。	54.6%	25.4%	12.4%	6.8%	0.8%
日頃から読書をしていますか。	44.3%	25.1%	15.9%	9.5%	5.1%
自分の良いところが言えますか。	35.7%	32.7%	13.5%	8.6%	9.5%
学校での出来事を家庭で話していますか。	57.0%	22.4%	10.8%	5.7%	4.1%

すすんで学ぶ子

学校での学習に関する質問項目では、いずれの質問にも9割前後の子ども達が「できている(そう思う・大体そう思う)」と答えています。「学校生活が楽しい」と答えている子どもも9割を超え、子ども達が前向きに学習に取り組んでいると読み取ることができます。「わが子が、楽しく学校に通うことができるよう働きかけている」という保護者の項目でも94.9%ができているとお答えされています。教職員のアンケートからも分かりますが、家庭と学校とが子ども達の楽しい学校生活を支えていると言えると思います。

家庭での学習においては、出された宿題(音読や漢字・計算のドリルなど)はしっかりと取り組んでいます。一方で、『家庭で自主学習(がんばり勉強)を取り組んでいますか』という項目では「できていると答えている子どもは77.8%と、学校での学習に関する質問と比べて若干の数値の低下が見られます。「何を」「どのように」学んでいくのか、自分で学び方を決めることができる自主勉強に対して、どういうアプローチを学校としてしていくのかがこれから課題となります。

GIGAスクール構想のもとで一人一台のタブレットを使用する機会が多くなってきています。タブレットは学習の道具であり、使用するのは子ども達です。子ども達の主体的な学びに対して、学年に応じた活用方法を進めていきたいと思います。

令和4年度 第1回教育アンケート(保護者)

質問項目	そう思う	大体そう思う	あまり思わない	そう思わない	分からない
わが子が、楽しく学校に通うことができるよう働きかけている。	45.9%	49.0%	3.4%	0.3%	1.4%
わが子の学習の様子をつかもうと心がけている。	41.7%	53.0%	5.1%	0.0%	0.3%
わが子がルールを守ることができるよう家でも働きかけている。	45.9%	52.7%	1.4%	0.0%	0.0%
わが子に、進んで学習に取り組むことができるよう働きかけている。	30.4%	54.4%	11.8%	1.7%	1.7%
わが子に、人の話をしっかり聞くよう働きかけている。	43.1%	52.4%	3.4%	0.0%	1.1%
わが子に、誰とでも協力して学習することができるよう働きかけている。	27.0%	55.5%	14.1%	0.8%	2.5%
わが子に、宿題や家庭学習の習慣が身につくように働きかけている。	35.8%	53.2%	8.5%	0.8%	1.7%
わが子に、丁寧な言葉づかいをするよう、家でも言葉づかいに気を付けている。	22.3%	54.4%	18.9%	3.4%	1.1%
わが子が、自分から進んで挨拶をするように、家でも挨拶をしている。	45.6%	48.2%	5.4%	0.3%	0.6%
わが子が、人や物を大切にできるよう働きかけている。	45.9%	51.0%	2.8%	0.0%	0.3%
わが子に掃除や整理整頓の習慣が身に付くように、家でも整理整頓に努めている。	25.1%	54.4%	13.8%	5.1%	1.7%
わが子が、自分から進んで体を動かすような言葉かけをしたり、機会を持ったりしている。	26.8%	48.2%	20.3%	3.1%	1.7%
わが子に、本をよく読むようにすすめている。	25.1%	35.8%	29.6%	7.9%	1.7%
わが子の良さを認め、褒めるようにしている。	43.9%	49.0%	5.6%	0.6%	0.8%
おたよりやHP等で学校の様子を知るようにしている。	41.4%	47.9%	8.5%	0.6%	1.7%

やくそくを守る子

「児童がルールを守ることができるよう見守り、支援している」というアンケート項目において、教職員は「できている(そう思う・大体そう思う)」と答えています。同様に児童・保護者アンケートでも高い数値を示しています。学校では「やくそくを守る子」として『自ら律する力』の育成を目指しています。自ら律する力では、親や教師がいなくても、自分で自分の行動を正すことが大切になってきます。そのことを念頭に置いて普段の子ども達の姿を見てみると、廊下を走るなどまだまだ律することができていない場面をよく見ます。数値では高いが、実際は…ではなく、数値(意識)と実際の行動をつなげていくことが大切になってきます。これは学校内だけでなく、登下校での様子にも関わってくると思います。通学路の歩き方や地域の方へのあいさつ等、『いつでも』『どこでも』『誰に対しても』正しい行動をとることができるよう、日々の指導を継続していきます。

藤ノ森小学校では、最高学年である6年生を目指す姿として子ども達に伝えています。まずは6年生が見本となって、その姿を示してくれている場面をよく見ることができます。このような藤ノ森の良さを続けていきたいと思います。

令和4年度 第1回教育アンケート(教職員)

質問項目	そう思う	大体そう思う	あまり思わない	そう思わない
児童が楽しく学校に通うことができるような学級・学校づくりに取り組んでいる。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
授業の流れを明確にし、学習課題とまとめ、振り返りを行っている。	41.7%	58.3%	0.0%	0.0%
児童がルールを守ることができるよう見守り、支援している。	58.3%	41.7%	0.0%	0.0%
児童が進んで学習に取り組むことができるよう働きかけている。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
児童が授業中、人の話を最後までしっかり聞くよう働きかけている。	41.7%	58.3%	0.0%	0.0%
誰とでも協力して学習することができるよう働きかけている。	41.7%	58.3%	0.0%	0.0%
児童に宿題や家庭学習の習慣が定着するよう働きかけている。	25.0%	66.7%	0.0%	0.0%
教職員自ら丁寧な言葉づかいを心がけている。	50.0%	41.7%	8.3%	0.0%
教職員自ら進んで挨拶をしている。	58.3%	41.7%	0.0%	0.0%
児童が人や物を大切にできるよう指導している。	58.3%	41.7%	0.0%	0.0%
児童が掃除や整理整頓の習慣が身に付くように働きかけている。	41.7%	58.3%	0.0%	0.0%
児童が進んで体を動かすことができるようすすめている。	58.3%	41.7%	0.0%	0.0%
児童の読書週間が定着するように働きかけている。	41.7%	41.7%	8.3%	0.0%
児童の良さを積極的に見付け、認め、褒めるようにしている。	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
各おたりや HP 等で学級や児童の様子を伝えている。	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%
藤ノ森小学校「学校いじめ防止基本方針」の内容を理解し、組織的対応に努めている。	41.7%	58.3%	0.0%	0.0%
児童・保護者の訴え(アンケート結果含む)や相談内容を共有している。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%

だれとでもつながる子

児童・保護者の「協力して学習すること」「自分や人、ものを大切にしている」「あいさつ」の項目を見ても、藤ノ森の子ども達は概ね友達を大切にできていると言えます。校内を見ていましても、子ども達の優しさを目にすることがあります。これは、学校での人権教育や家庭での家族の関わりなどによるものと考えています。多様性を認める力を小学校段階から身に付けることは、子ども達の将来に向けて非常に大切なことです。小学校では、道徳の時間や総合的な学習の時間などで、様々な人の『出会い』があります。5年生での LGBTQ 授業もそうです。他者を認め、そして自分自身も認めることができるように、様々な取組を続けていきたいと考えています。

しなやかで元気な子

以前と比べて、少しづつ体育の学習や休み時間・放課後の遊びの制限が緩和されてきています。「進んで体を動かしていますか」では、児童の8割ができていると答えています。しかし、緊急事態宣言等の影響は少なからずあるのも実情です。藤ノ森小学校だけではありませんが、新体力テストの結果によると京都市の子ども達は持久力の低下が課題であるようです。できることに制限はありますが、体を動かす機会やその楽しさを得る機会を学校としても今まで以上に設けていかなくてはならないと考えています。

令和4年度 第1回教育アンケート(地域)

質問項目	そう思う	大体そう思う	あまり思わない	そう思わない	分からない
1. 子どもが、すすんで挨拶すること	16.7%	33.3%	33.3%	8.3%	4.2%
2. 本校教職員が、教育に対して熱意と誠意を持つこと	37.5%	41.7%	8.3%	0.0%	8.3%
3. 学校が、子どもの安全確保に気を付けること	50.0%	37.5%	8.3%	0.0%	0.0%
4. 学校が、学校の取組や様子について学校よりやホームページ等で情報発信していること	41.7%	41.7%	4.2%	0.0%	4.2%
5. 学校が、気軽に連絡や相談ができる関係づくりに努めていること	33.3%	41.7%	4.2%	0.0%	8.3%
6. 学校が、施設の整備など、充実した教育環境づくりに努めていること	41.7%	45.8%	0.0%	0.0%	8.3%
7. 学校が、家庭や地域との連携を大切にしていること	45.8%	41.7%	4.2%	0.0%	4.2%

自由記述欄(抜粋)

自由記述にはたくさんのご意見をお寄せいただきました。ありがとうございました。いただいたご意見をもとに、教職員一同力を合わせ、今後の教育活動に取り組んでまいりたいと思います。紙面の都合上、一部のご紹介のみとさせていただきます。ご了承ください。

○学習だけでなく、学級活動のフェスティバルや担任との鬼ごっこなど、休み時間の過ごし方などにも様々な工夫をして頂いているようで学校生活が楽しいと。親としては嬉しく思います。

○地域の方や日頃のボランティアの方と連携し登下校の見守りなど目の当たりにし改めて感謝致します。

○コロナ感染が拡大するなかにあっても、先生方のおかげで通学でき、たいへんありがたいことと感謝しています。教室があり先生方や友だちがそこにいることの大切さに、子どもには気づいてほしいと思います。

○たまたま学校に行った時に、休み時間に先生が運動場で一緒に遊んでくださってるのを見かけました。授業の準備など、いろいろ大変な中、子ども達と関わってくださってるのを見て、感謝しかありません。ありがとうございます。

○子どもは担任の先生が大好きです。日々子どもを通してお話を聞く中で、先生方のお心配りに感謝しております。ただ、先生方も教師の前にひとりのいち人間であり、家族の1人でいらっしゃると思います。今日は家族の用事で先生が学校を休んだ、と聞くと、自身を犠牲にされず、ご家族を大事にされているとわかりとてもホッとしています。仕事はご自身の基盤がしっかりしていてこそ。なかなか難しい環境でいらっしゃるとは思いますが、休まれる時はしっかり休み、心身共に健康に子ども達と向き合って頂ければ親としては安心です。

○今年度から教科担任制が取り入れられ、多くの目で見ていただけることがありがたいと感じています。日々のご指導ありがとうございます。

○今回のアンケートには直接関係ないのかもしれないですが、墨染通りの交通量の減少には驚いています。とても安心です。しかし、藤森神社の前の通りの交通量が増えないのか心配になります。歩道はありますが、多くの人が通ると歩道からはみ出ます。また抜け道になっているところもあります。

○毎日のランドセルの重さが気になります。宿題以外は置き勉の選択ができるようにする、また、月曜日など休み明けの時間割は教科書の数が少ない教科にするなどの配慮をお願いします。

○GIGA 端末を毎週末持って帰ってきて宿題をしますが、パソコンが重たく、パソコン+授業の教科書をランドセルに入れての登下校、重さを測ると子どもの体重の1/3の重さを背負って歩いて行つて、子どもの体への負担が心配です。